



「清南CAN-DOリスト」 「清南アクティビティ」



神奈川県立厚木清南高等学校
全日制・定時制・通信制
英語科

「清南CAN-DOリスト」と「清南アクティビティ」について

英語をはじめとした外国語は、グローバル社会を生きるわが国の子供たちの可能性を大きく広げる上で重要なものであるとともに、日本の国際競争力を高めていく上で重要な要素であることから、「外国語能力の向上に関する検討会」が平成23年6月にとりまとめた「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」において、各中学校及び高等学校は、生徒に求められる英語力を達成するための目標（学習到達目標）を「CAN-DOリスト」として具体的に設定すべきであることが提言されました。

この提言を踏まえ、文部科学省は、各学校が、生徒の英語力向上のために身に付けるべき能力を明確化するとともに、生徒の指導と評価の改善に活用することなどを目的として、平成25年3月に「各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き」を作成しました。

厚木清南高校では、以上のことを踏まえ、平成25年度から完全実施となった新しい学習指導要領を着実に実施するとともに、指導と評価の改善を推進することを通じて、すべての生徒の英語力の水準を向上させるため、このたび「清南CAN-DOリスト」及び「清南アクティビティ」を設定いたしました。

「清南CAN-DOリスト」の設定にあたっては、生徒の卒業に最低限必要となる3年間の修業年限を視野に、各年度において達成すべき学習到達目標を、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の技能ごとに具体的に設定することに留意しました。また、「清南アクティビティ」の設定については、それぞれの技能の学習到達目標を踏まえた上で、四つの技能を総合的に育成するために有効であると想定される学習活動を、事例として示すことといたしました。

厚木清南高校では、すべての英語担当教員が、「清南CAN-DOリスト」及び「清南アクティビティ」を踏まえ、共通の目標を見据えながら指導と評価に取り組むとともに、各学習到達目標等の見直しを行うことで指導と評価の改善を実現させることなどにより、すべての生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に取り組んでまいります。

1 清南CAN-DOリスト（レベル別到達目標）

<読むこと>

Level C	物語や説明文などを読んで、詳細を理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文などを読んで、事実や書き手の意見を正確に理解することができる。 ・日常生活の身近な話題についての文章を読み、情報を正確に理解することができる。 ・図や表との関連を考えながら読むことができる。 ・物語や説明文などを、聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。
Level B	物語や説明文などを読んで、概要や要点を理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文などを読んで、情報や考えなどの概要を理解することができる。 ・日常生活の身近な話題についての文章を読み、概要を理解することができる。 ・図や表から、必要な情報を得ることができる。 ・物語や説明文などを、聞き手に伝わるように音読することができる。
Level A	物語や説明文などを読んで、概要や要点を教師の支援があれば理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文などの概要を、補助教材を用いて理解することができる。 ・日常生活の身近な話題についての文章の概要を、補助教材を用いて理解することができる。 ・簡単に描かれた図や表から、必要な情報を得ることができる。 ・物語や説明文などを、聞き手に伝わるようにゆっくりと音読することができる。

<聞くこと>

Level C	まとまった文章を聞いて、概要や展開を理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった文章を聞いて、情報や考えなどの概要を理解することができる。 ・日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その概要を理解することができる。 ・教師による英語でのまとまりのある発話を理解することができる。
Level B	まとまった文章を聞いて、概要や展開を教師の支援があれば理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり（または繰り返して）話されれば、まとまった文章を聞いて、情報や考えなどの概要を理解することができる。 ・ゆっくり（または繰り返して）話されれば、日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その概要を理解することができる。 ・教師による英語での指示を理解することができる。
Level A	まとまった文章を聞いて、内容理解に必要な情報を聞き取ることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった文章を聞いて、内容に関する重要語句や聞き取ることができる。 ・日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、重要語句を聞き取ることができる。 ・教師による英語での簡単な指示を理解することができる。

<書くこと>

Level C	与えられたテーマについて文章を書くことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に身近なものを紹介する簡単な文章を5文以上で書くことができる。 ・英語の手紙や電子メールなど、まとまりのある短い文章を書くことができる。 ・簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書き込むことができる。 ・学んだことや経験したことに基づき、自分の意見を論理的に整理し、構成を意識して書くことができる。
Level B	自分のことについて短い文章を書くことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・導入、本論、結論の構成を理解している。 ・自分に身近なものについて、自分の意見とその理由を含んだ3~4文で書くことができる。 ・日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。 ・招待状などの簡単なカードやはがきを書くことができる。
Level A	簡単な文を書くことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞や動詞などの活用に注意して文を書ける。 ・短い文であれば、英語の語順で書くことができる。文と文を接続詞（and / but / so / when / because など）でつなげて書くことができる。 ・自分の名前や住んでいる場所、意見などを簡単な文で書ける。

<話すこと>

Level C	興味・関心のあることについて自分の考えを話すことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心のあることについて、自分の考えを述べるができる。 (好きなスポーツ、趣味、色、ニュースに関する事など) ・自分の将来の夢や希望について、話すことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など) ・自分の気持ちを表現することができる。(うれしい、悲しい、さびしいなど / 賛成、反対)
Level B	自分の身近なことについて話すことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことについて、短い話をするができる。(趣味、クラブ活動など) ・自分の国の文化について、簡単に紹介することができる。 ・物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を簡単に述べるができる。(食べ物、スポーツなど) ・自分が経験したことについて、短い話をするができる。 (例: I got up at seven. / I ate some bread for breakfast.) ・自分の予定を簡単に言うことができる。(例: I'm going to meet my friends.)
Level A	簡単な語句や定型表現を使って話したり、質問をしたりすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己紹介をすることができる。(名前、住んでいるところ、家族など) ・簡単な質問をすることができる。(時刻、好きなもの、相手の名前など) ・相手の言うことがわからないときに、聞き返すことができる。(例: Pardon?) ・簡単な頼みごとをすることができる。(例: Can you open the window, please?)

2 清南アクティビティ

(1) 読むこと

内容のまとめり	読むこと
学習到達段階	B
学習到達目標	物語や説明文などを読んで、概要や要点を理解することができる。
学習活動の名称	Paper Folding / Let's make <i>origami</i> !
活用する教材及び 教具	折り紙、英語による折り方の説明書、英和辞典
指導の手順	<ol style="list-style-type: none">1. グループを作る。2. 折り紙と折り方の説明書を全員に配る。3. “Ready. Go.”の合図で、説明書の指示に従って折り紙を折らせる。グループ内で話し合いながら折る。途中、辞書を使ってもよい。4. 早く正確に折り紙を完成させたグループが勝ち。
評価方法	折り方の説明書を早く正確に読み取って折り紙を完成させたか。

内容のまとめり	読むこと（話すこと）
学習到達段階	B
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文などを読んで、情報や考えなどの概要を理解することができる。 ・自分が経験したこと（読んだこと）について、短い話をするすることができる。
学習活動の名称	リプロダクション活動
活用する教材及び教具	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ワークシート ・黒板もしくはパワーポイントスライド
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書本文や本文の要約文を黙読させ、活動の準備をさせる。 2. 本文内容再生のヒントをあらかじめ与えておく。 (ヒントの提示例) <ul style="list-style-type: none"> ・本文内容に関わるキーワードの板書 ・パワーポイントによるキーワードや画像の提示 3. ペアを作らせ、本文内容（1レッスンもしくは1パート）を口頭で再生させる。 <p>※ペアを再生役・聞き役というように役割分担をして、交互に再生させる。聞き役の生徒には、教科書を見ながら適宜ヒントを与えさせる。</p>
評価方法	教師による観察

(2) 聞くこと

内容のまとめり	聞くこと
学習到達段階	A
学習到達目標	まとまった文章を聞いて、内容理解に必要な情報を聞き取ることができる。
学習活動の名称	Word Bingo
活用する教材及び 教具	ビンゴ用にマス目が書かれたプリント、フラッシュカード
指導の手順	<ol style="list-style-type: none">1. フラッシュカードで前授業時に出てきた英単語の発音練習と意味の確認をする。確認後、フラッシュカードを黒板に貼る。2. ビンゴ用のプリントを配布する。3. マス目に英単語をアトランダムに書かせる。4. 単語の英語の定義を読み上げ、生徒にその単語は何かを問う。その後、ビンゴカードの中の単語に×を付けさせる。5. 縦、横、斜めのいずれかに×が4つ並んだら、挙手をして“Bingo!”と言わせる。
評価方法	積極的に取り組んでいたか。 教師の質問に積極的に答えていたか。

内容のまとめり	聞くこと
学習到達段階	B
学習到達目標	ゆっくり（または繰り返して）話されれば、まとまった文章を聞いて、情報や考えなどの概要を理解することができる。
学習活動の名称	ディクトグロス（ベーシック）
活用する教材及び 教具	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・CD プレーヤー
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4～5人のグループを作らせる。 2. 本文に関する音声（本文・本文サマリー・T&Fの問題文など）をCDで数回流し、聞いた英語を個人で書きとらせる。 3. グループで書きとれた内容を見せあい、互いに書きとることができなかった部分を補わせる。書きとれなかった部分については、文法に関する知識などを活用しながら、協力して推測させる。 4. 必要に応じて、再度CDを数回流す。 5. それぞれのグループに書きとった内容を発表させながら、答え合わせを行う。
評価方法	<p>教師による観察 ワークシート</p>

内容のまとめり	聞くこと
学習到達段階	B
学習到達目標	まとまった文章を聞いて、概要や展開を教師の支援があれば理解することができる。
学習活動の名称	Quiz Show
活用する教材及び教具	<ul style="list-style-type: none"> ・ カテゴリー（4～6個）を決める。General/ Cartoons / Sports / Music/ Famous People / Geography 等 ・ カテゴリーごとに質問を用意する。それぞれ10点から50点まで10点刻みで難易度をつけた問題を用意する。例：What is the highest mountain in Japan? (10 point) What is the capital of Italy? (50 point)
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 列ごとにチームを作る。 2. 各チームで順番に1名ずつ解答者を立たせる。教師は最初にGeneral 10の問題を読み上げ、その答えがわかった者は挙手をし、解答する。正解の場合、そのチームに得点が与えられ、かつ、次の問題のカテゴリーとポイントを選ぶ権利が与えられる。教師は黒板にスコアボードを書き、スコアをつける。 3. 次の解答者を立たせ、選ばせたカテゴリーとポイントに該当する問題を教師が読み上げる。その答えがわかった者は挙手をし、解答する。正解の場合は、同様にそのチームに得点が与えられ、次の問題のカテゴリーとポイントを選ぶことができる。 4. 時間が許すまでこれを繰り返し、得点が多かったチームが勝ちとなる。
評価方法	積極的に取り組んでいたか。

(3) 書くこと

内容のまとめ	書くこと
学習到達段階	A
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞や動詞などの活用に注意して文を書ける。 ・ 短い文であれば、英語の語順で書くことができる。文と文を接続詞 (and / but / so / when / because など) でつなげて書くことができる。
学習活動の名称	英借文活動
活用する教材及び教具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 ・ ワークシート
指導の手順	<p>1. ワークシートに本文内容に対する感想を英語で書かせる。 (ワークシートの例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>() には「感情を表す語★」を、[] には本文の英文を入れて、本文を読んだ感想を英語で書いてみよう。</p> <p>I am () to know that [].</p> <p>★ () に入る「感情を表す語」の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ glad ⇒ うれしい ・ surprised ⇒ 驚いている ・ sad ⇒ かなしい ・ impressed ⇒ 感銘を受ける </div> <p>2. 作成した英文を板書するなどして、全員で共有させる。</p>
評価方法	<p>教師による観察 ワークシート</p>

内容のまとめり	書くこと
学習到達段階	A
学習到達目標	名詞や動詞などの活用に注意して文を書ける。
学習活動の名称	School Regulations 理想の校則を作ってみよう
活用する教材及び 教具	ワークシート 禁止・許可を示すサイン
指導の手順	<p>1. プレ・タスク タスク活動で使う助動詞の意味を確認する。</p> <p>2. タスク 1 清南高校のルール（英語版）を読み、「やらなくてはいけないこと」「やってはいけないこと」「やってもよいこと」「やらなくてもよいこと」に分類させ、ペアで確認する。</p> <p>3. タスク 2 禁止や許可を示すサインを見せ、適切な助動詞を選ばせる。</p> <p>4. タスク 3 英語を聞いて、どのサイン（タスク 2 で使用したもの）についての説明か選ぶ。</p> <p>5. タスク 4 理想の校則を文で書かせる。生徒用・教員用の両方書かせる。</p>
評価方法	<p>1. タスク活動に積極的に参加していたか（観察）</p> <p>2. 自分の意見に合わせて適切な助動詞を選べているか（ワークシート）</p> <p>3. 理想の校則が書けているか。（ワークシート）</p>

内容のまとめり	書くこと
学習到達段階	A
学習到達目標	簡単な文を書くことができる。
学習活動の名称	つぶやき
活用する教材及び 教具	筆記用具
指導の手順	<p>今、思っていることを書いて見るように指示。 (I'm tired. など例も提示)</p> <p>特に何もいない生徒もいるので、 “What did you eat this morning?” など質問を投げかけ、 それに対する答えを書くように指示。 条件は最低1文。書きたいのに書けなかった表現は、日本語で書いておくようにする。</p> <p>時間的・能力的に余裕のある生徒には、 追加で文章を書くように指示。 回収し、教師からの返答をつけて返却。</p>
評価方法	<p>自分の英語力でどこまで書けるのか。 文法的に正しいかどうか。 複数文書けているかどうか。</p>

内容のまとめり	書くこと
学習到達段階	A
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞や動詞などの活用に注意して文を書ける。 ・ 短い文であれば、英語の語順で書くことができる。文と文を接続詞（and / but / so / when / because など）でつなげて書くことができる。 ・ 自分の名前や住んでいる場所、意見などを簡単な文で書ける。
学習活動の名称	Task Writing
活用する教材及び教具	教科書、プリント等
指導の手順	<p>①教科書で扱われる文法事項やイディオム等について説明、口頭でパターンプラクティスを行う。</p> <p>②自分自身について自由に書かせる。単語等については携帯で調べたことを認めるが、翻訳機能は参考程度にさせる。机間巡視しながら生徒を支援。伝えたい内容と表現があまりにもかけ離れていない限りは、生徒が書いたものを尊重する。条件を提示する（5語以上等）場合もある。</p> <p>③書いたものを口頭で発表させる。</p>
評価方法	<p>毎回、プリントを提出させる。必要があれば添削してから返却する。評価については必ず定期試験の中の問題として出題。プリント提出は授業点として加算。</p>

内容のまとめ	書くこと
学習到達段階	B
学習到達目標	自分に身近なものについて、自分の意見とその理由を含んだ3~4文で書くことができる。
学習活動の名称	Welcome to Japan!
活用する教材及び 教具	ワークシート（提出用の記録用紙も用意する） 都市を推薦するときを使用することが予想される単語集
指導の手順	<p>1. プレ・タスク 海外からの観光客に日本で訪れるべき都市を検討・決定させる手順を説明する。 都市（例）：東京、京都、北海道、長崎など</p> <p>2. タスク （1）同じ都市を推薦する生徒でペアを作り、情報を共有・追加する。推薦理由をまとめる。 （2）候補地がすべてそろうようにグループを作り、意見交換をする。自分以外の候補地についてメモをとる。 （3）グループで候補地を1つ決定する。記録係はグループの候補地を記録用紙に書く（最後に回収）</p> <p>3. レポート 各グループの代表が候補地とその理由を発表する。</p> <p>※回収した記録用紙をまとめ、次の時間に配布および文法事項の説明を行う。</p>
評価方法	<p>1. タスク活動に積極的に参加していたか（観察）</p> <p>2. 自分の意見を書けているか（ワークシート）</p> <p>3. グループのメンバーの意見をメモしているか（ワークシート）</p>

(4) 話すこと

内容のまとめり	話すこと
学習到達段階	A
学習到達目標	簡単な語句や定型表現を使って話したり、質問をしたりすることができる。
学習活動の名称	Let's Draw a Picture!
活用する教材及び教具	Useful Expressions が書かれたプリント 白紙の紙、色鉛筆、原画
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. Useful expressions が書かれたプリントを配布し、語句の説明と音読確認を行う。 2. グループを作る。 3. グループに一枚紙を配る。 4. 英語による絵の詳細を聞き、聞きとった内容を絵に描く。グループ内で協力し合い、一幅の絵に仕上げる。 5. グループで仕上げた絵を黒板に貼る。 6. 原画と見比べて、どの作品が一番原画に近いか、生徒の挙手で決める。 7. (宿題として、事前に生徒に絵を描かせておく。) <p>(グループワークの場合) グループ内で発表者を決め、自分で描いてきた絵の詳細を英語で行う。発表者以外の生徒は聞き取った内容を絵に描く。原画と照らし合わせ、原画に一番近いものを選ぶ。(クラス一斉でも実施可能。)</p>
評価方法	積極的に取り組んでいたか。 絵に関する説明が適切であるか。

内容のまとめり	話すこと
学習到達段階	A
学習到達目標	簡単な語句や定型表現を使って話したり、質問をしたりすることができる。
学習活動の名称	Guess What?
活用する教材及び教具	Useful Expressions が書かれたプリント ある物が写っている写真か絵（10 枚×グループ数）（例：ピザ、冷蔵庫、テレビ等）
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> Useful expressions が書かれたプリントを配布し、語句の音読をする。 グループを作る。 グループの 1 人に写真（または絵）を配る。 グループ内で写真(または絵)に関する Q&A を行い、その写真（または絵）が何かを言い当てる。 例：A: Guess what? B: Is it big? A: No, it is small. C: Is it circle? A: No, it is triangle. D: Can we eat it? A: Yes, we can. B: Is it a pizza? A: Yes, that's right. 何回で言い当てられたかカウントし、得点にする。 別の生徒と役割を交代して同じことを行う。グループ全員が一通り終わるまで行うか、時間制限を設けて行う。
評価方法	物の特徴についての説明が適切であるか。 何回で言い当てられたかカウントし、得点にする。

内容のまとめり	話すこと
学習到達段階	B
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことについて、短い話をするができる。 ・自分が経験したことについて、短い話をするができる。
学習活動の名称	プラクティカル・カンヴァーセッション
活用する教材及び 教具	教科書 学習プリント
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本文中の重要な表現を詳しく解説する。 (ex. be good at ～ing, what kind of ～) 2. 重要表現がどういった場面で使われているかを教科書で確認して、英文を音読する。 3. 重要表現を用いて、相手に質問をしたり、自分自身について相手に伝わるように話したりする。
評価方法	ALT と 1 対 1 で重要表現を用いてコミュニケーション活動を行い、適切に重要表現が使われているか評価する。

内容のまとめり	話すこと
学習到達段階	B
学習到達目標	自分の身近なことについて話すことができる。
学習活動の名称	Show and tell を用いたスピーチ活動 (例：日本の文化／将来の夢や職業)
活用する教材及び 教具	・ワークシート ・プリント写真もしくはパワーポイントスライド
指導の手順	<p>手順1：Show & Tell のモデル文を読む</p> <p>手順2：モデル文から自分の参考になる表現を抜き出す</p> <p>①写真を見せながら、どこで撮ったものか述べている文</p> <p>②どんなものなのか紹介している文</p> <p>③そのものの名前を紹介している文</p> <p>④種類を紹介している文 ⑤形を紹介している文</p> <p>⑥いつそれと出会ったかを述べている文</p> <p>手順3：辞書を使いながら次の項目にあてはまる英語を調べる</p> <p>①何を紹介しますか。</p> <p>②どこで撮った／入手したものですか。</p> <p>③どんなものですか ④種類 ⑤形</p> <p>⑥いつそれと出会いましたか。</p> <p>⑦その他 説明したいこと</p> <p>手順4：原稿の下書きを書き、添削してもらう</p> <p>手順5：発表に向けて練習する</p> <p>手順6：発表する</p>
評価方法	<p>発表させ、教師が評価表を使用して評価を行う。</p> <p>(評価の観点)</p> <p>1.Contents (内容)</p> <p>2.English (発音・音量・流暢・抑揚)</p> <p>3.Delivery (話し方・アイコンタクト)</p> <p>4.General Impression (全体的な印象)</p>

内容のまとめり	話すこと
学習到達段階	B
学習到達目標	自分の身近なことについて話すことができる。
学習活動の名称	Let's Describe a Picture!
活用する教材及び 教具	文法事項と Useful Expressions が書かれたプリント 英検準 2 級、3 級の 2 次試験用の絵
指導の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. ターゲットとなる文法事項（現在進行形）のパターンの確認と Useful Expressions の音読を行う。 2. ペアを作る。 3. ペアの片方（A）に絵を配る。その際、ペアの相手（B）に、絵を見せないように注意する。 4. Aは絵を見ながらペアの相手（B）に絵の内容を英語で伝える。 5. Bは英語による説明を聞いて、イメージしたものを日本語でAに伝える。 6. Aはいくつ当たっていたかカウントし、得点にする。
評価方法	絵の内容についての表現が適切であったか。 何項目当てられたかを得点にする。

